

博物館だより 2016年 秋号 *The Museum Letter*

葛飾区郷土と天文の博物館 | Katsushika City Museum



Contents

平成28年度 特別展

セルロイドの町 かつしか



2016

11月3日[木・祝]

2017

1月9日[月・祝]

大正初期から昭和40年代にかけて、東京東部ではセルロイド玩具の生産が盛んに行われ、葛飾区にも多くの工場が存在していました。葛飾区のセルロイド産業を、当時生産に携わっていた人々の視点を通して紹介します。



【特集】博物館開館25周年

埋蔵文化財の仕事

葛飾区郷土と天文の博物館が開館してから今年で25年。夏号に続いて秋号では、埋蔵文化財担当の学芸員が葛飾区の遺跡や発掘調査についてお伝えします。



プラネタリウム開館25周年記念番組

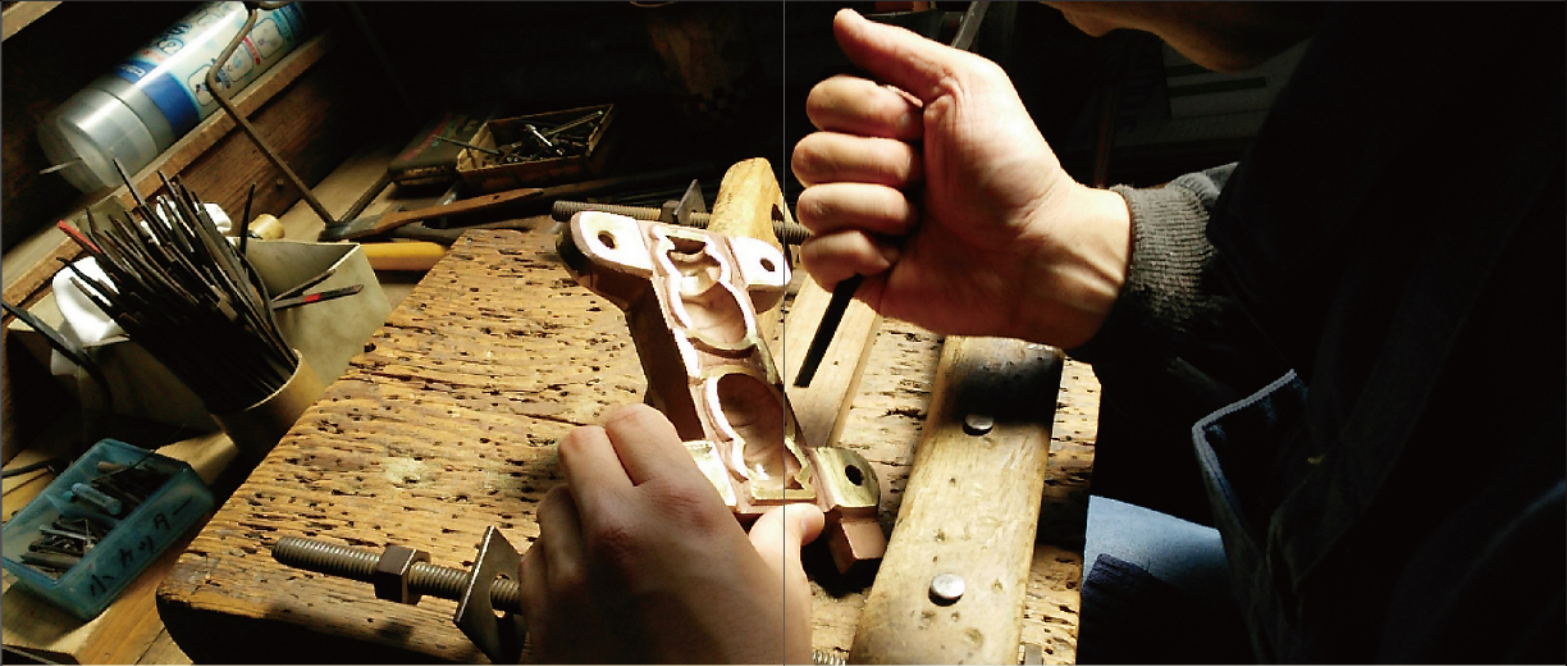
『シンフォニー・オブ・ユニバース ～第9番 宇宙創世～』



プラネタリウムは、10月から開館25周年記念番組『シンフォニー・オブ・ユニバース ～第9番 宇宙創世～』を上映しています。オリジナル演奏でお送りする第9番をお楽しみください。

No.

1 1 6



わが国では大正初期から昭和40年代にかけて、セルロイド素材の生
活雑貨や玩具などが生産されていました。中でも葛飾区はセルロイ
ド玩具の生産が盛んで、四つ木、立石などに多くの工場が存在して
いました。この特別展では、日本の近代化を支えたセルロイド産業
を、当時生産に携わっていた人々の視点を通して紹介します。

平成28年度特別展

セルロイドの町



2016 11月3日[木・祝] ▶ 2017 1月9日[月・祝]

葛飾区郷土と天文の博物館
2階特別企画展示室 及び 常設展示室一部

かつしか

1 東京東部のセルロイド産業

葛飾区でセルロイド玩具産業が盛んになった背景を紹介していきます。
葛飾区登録有形民俗文化財「旧セキグチドールハウス収蔵品一括」の、
百点を超えるセルロイド玩具などを展示します。

2 セルロイド産業に携わった人々たち

セルロイド製品の生産に携わっていた方々の技術力は、現代の産業の基
礎につながっていきます。再現映像や道具などの実物資料、その技術を
紹介します。

3 暮らしのなかのセルロイド

セルロイドは、大量生産に向く素材のため様々な製品に加工されました。
昭和30年代まで一般的だったセルロイド製の日用品を展示します。



関連
イベント

セルロイドの原料である綿と種を分ける「綿くり」体験
綿くり体験教室 事前申込み不要・先着30人
11月26日(土) 午前10時から11時30分 受付9時45分

トークショー◎葛飾区のセルロイド玩具産業について
関口晃市氏(株式会社セキグチ会長) ほか

12月10日(土) 午後2時から4時 要・事前申込み

講演会◎キュービーにかかわる歴史や文化について
北川和夫氏(日本キュービークラブ会長)

12月17日(土) 午後2時から4時 要・事前申込み

クリスマスのオーナメントにどうぞ

セルロイド人形染付体験教室

12月24日(土) 午後2時から4時 要・事前申込み

*会場はすべて当館講堂

*申込み方法、締切日など詳細は当館ウェブサイト又は
「広報かつしか」をご覧ください。



素晴らしい映像と、数々の名曲。こうしたプラネタリウム番組は、すべての世代の教育につながる、価値あるものだと思います。皆さんが番組をご覧になって、少し神秘的に近づいた、と感じていただければ幸いです。
ディアン・パブロフ

素晴らしい映像と、数々の名曲。こうしたプラネタリウム番組は、すべての世代の教育につながる、価値あるものだと思います。皆さんが番組をご覧になって、少し神秘的に近づいた、と感じていただければ幸いです。
ディアン・パブロフ

クリスマスコンサート

『世界の空からジングルベル』
要・事前申込み

◆12月16日(金曜日)午後7時開演
◆12月18日(日曜日)午後6時開演
詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

プラネタリウムのご案内

11月1日(火曜日)から12月25日(日曜日)まで

■季節の番組『シンフォニー・オブ・ユニバース ～第9番 宇宙創世～』
■アンコールアワー
(14:30の回)『電脳的大宇宙 Ver.2.1』
(17:30の回)『第二の地球をもとめて』(11月26日まで)
『ミュージック・プラネットーChristmas Editionー』(12月3日から)

■こども番組『かつしかドームステーション』
◆星座バージョン(11月27日まで)
◆クリスマスバージョン(12月3日から)

	11:30	13:00	14:30	16:00	17:30
土曜日	こども番組	季節の番組	アンコールアワー	季節の番組	アンコールアワー
日曜・祝日	こども番組	季節の番組	アンコールアワー	季節の番組	
平日	学校・団体利用			季節の番組	

【特集】
博物館開館25周年

天文
シンフォニー・オブ・ユニバース ～第9番 宇宙創世～

博物館開館25周年記念番組

2011年にお送りした番組『宇宙創世』が、博物館開館25周年を記念して生まれ変わります。「私たちはどこにいるのか、私たちの世界はどのように誕生したのか」神話の中これらの問いに、現代の私たちは、科学を使って答えを出そうとしています。この番組では、宇宙、星、太陽系、三つの誕生の物語を音楽と映像で描きます。

音と映像が奏でる『シンフォニー・オブ・ユニバース』は、2009年に第1番が誕生し、今回が9作目、第9番となります。『宇宙創世』で使った曲にも、二つの「第9番」が登場します。ベートーヴェンとドヴォルザークの交響曲第9番です。

クラシック音楽は、指揮者によって同じ曲でも印象が変わります。今回のリメイクに当たって、『宇宙創世』の迫力ある映像と音楽が一体となったオリジナルの演奏でお届けしたいと思いをしました。演奏はブルガリアのオーケストラ「Sofia Philharmonic」です。『シンフォニー・オブ・ユニバース』第9番でも演奏を担当した映像音楽専門のオーケストラです。

収録は、東京のスタジオとブルガリア国営ラジオ局のスタジオをインターネット回線で結び行います。音を聞きながらスカイプを使って細かな指示を指揮者やブルガリアのスタジオエンジニアに送ります。2日間合計12時間に及ぶレコーディングでした。その音源をプラネタリウムのドーム内で再生しながら番組を仕上げていきます。

138億年前に誕生した宇宙。その時空に響きわたる奇跡の調べをお楽しみください。

アンコールアワー (14:30の回)

『電脳的大宇宙 Ver.2.1』

コンピューターの中に宇宙を作り、その中で実験するー最先端の天文学が解き明かした宇宙の姿を紹介します。

郷土

葛飾の遺跡を調査する 埋蔵文化財の仕事

埋蔵文化財担当学芸員 永越信吾

今年の6月から8月にかけて、青戸7丁目の御殿山遺跡(古墳時代の集落跡)で発掘調査をしました。道路脇で行っていたので、通る人から「何か出ているのですか?」と尋ねられたり、出土したばかりの土器に触れた子どもたちが興奮して写真を撮ったりと、多くの人に興味をもってもらった機会となりました。

「遺跡」というと、どこか遠い地方の話のように思いますが、葛飾にも遺跡があり、いろいろなもの(遺物)が出土しています。その土地がいつごろのようところで、他の地域とどのような交流があったのかなど、発掘の成果を検証することで、様々なことがわかってきます。地下から出土する土器などの遺物は、その地域の歴史を紐解くうえで、重要な鍵となる文化財なのです。

▲土器出土の様子(2016年7月28日青戸7丁目)
▲出土の状況を、その場で方眼紙に記録していく

農業が盛んな地域では、耕作中の田畑から土器片が出てきたりすること、そこが古くから人が住んでいた場所(遺跡)であったと推測されますが、住宅地となった葛飾では、土地を掘り起こさなければ、遺跡の有無は確認できません。過去に行った調査から「遺跡」があると考えられる場所を「埋蔵文化財包蔵地」と呼びます。こうした場所で土木工事を行う場合には、工事の前に事前調査ー遺跡の有無の確認ーを行います。

古墳時代前期の土器が出土

出土する遺物の量は様々です。今回の御殿山遺跡の発掘では、事前調査の時点ですでに手応えがありましたが、本調査では50センチ程の深さから、予想以上の数の古墳時代前期(約1600年前)の土器が出土しました。葛飾でこの時期の土器が出土しているのは今のところ青戸だけで、区の中で最も古くから人が住み始めたところではないかと考えられています。

水とともにー東京低地での発掘調査

東京低地に立地する葛飾の遺跡には、木製品など有機質の遺物がよく残っています。水分量が多い土壌の中で、有機物が密閉された状態で腐らずに残るのです。

発掘では上層の土は重機やスコップで掘り、遺物が出てくる土の層になつてくると、人の手で移植ゴテを使って、少しずついいねに掘っていきます。木製品は、埋まっている

木製品が残しやすい一方で、水が湧いてくるのも低地ならではの特徴です。発掘した穴には、大量の水が溜まるので、ポンプで汲みだしながら発掘作業を続けます。

葛西城址から出土した木製の仏像と漆碗

ときは、水分を含んでやわらかく膨らんだ状態なので、壊してしまわないよう細心の注意が必要です。

以前、葛西城址の堀を中心に行った調査で、区内では初めて小さな仏像がほぼ完全な形で出土しました。この仏像も、出土したときはふにやふにやで真っ白な状態でした。

一つの文字を2ミリ四方ほどの大きさに書く

ジグソーパズルのように土器の破片を組み合わせ接合していく

出土したものは、「掘ったからおしまい」ではなく、資料に取りまとめる根気のいる作業が続きます。まずは出土品を水洗いし、番号登録・記入をします。それから破片の接合をします。土器であれば、破片の足りないところは内側から粘土をあて、外側から石膏を流し復元します。細かい破片から土器の形をイメージするには、経験と知識が必要になります。出来上がった復元土器は撮影・実測し、現地で実測した図面も清書し直します。

埋もれていたものを一度でも掘りおこすと、二度とその状態を復元できないので、正確に記録・分析し、報告書に残していくことで、何がわかったのか、後世に引き継いでいくことが責務だと思っています。

後の世代に受け継いでいくために

出土したものは、「掘ったからおしまい」ではなく、資料に取りまとめる根気のいる作業が続きます。まずは出土品を水洗いし、番号登録・記入をします。それから破片の接合をします。土器であれば、破片の足りないところは内側から粘土をあて、外側から石膏を流し復元します。細かい破片から土器の形をイメージするには、経験と知識が必要になります。出来上がった復元土器は撮影・実測し、現地で実測した図面も清書し直します。

土器の形から使われた時代の歴史を考察する

遺跡の出土状況を現地で実測した図面

【年末年始のご案内】

♪プラネタリウムコンサート♪

『世界の空からジングルベル』

◆12月16日(金曜日)午後7時開演

◆12月18日(日曜日)午後6時開演

休館日です

★イベント

(事前申し込みが必要です)

12月23日金曜日は、祝日のため
午後5時で閉館します。

	日	月	火	水	木	金	土
12月	18★	19	20	21	22	23	24★
	25	26	27	28	29	30	31
1月	1 元日	2	3	4	5	6	7

セルロイド人形染付体験教室
午後2時から4時

2日と3日は、正午から午後5時まで開館

葛飾区郷土と天文の博物館ご利用案内

開館時間

午前9時～午後5時

(金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、
午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)

休館日

月曜日、第2・4火曜日

(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌平日休館)

入館料

大人 100円 小・中学生 50円 幼児無料

(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)

プラネタリウム 観覧料

大人 350円 小・中学生 100円

幼児(座席を使う場合) 50円

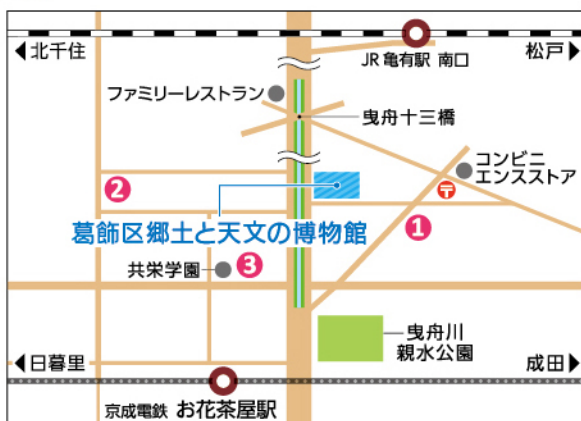
(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)

年間 パスポート

大人 2,000円 中学生以下 700円

購入から1年間、入館とプラネタリウムが見放題になる
大変お得なパスポートです。購入時にご希望があれば、
「博物館だより」(年3回発行)を1年間お送りします。

アクセス



電車 京成線「お花茶屋」駅から徒歩8分

JR常磐線「亀有」駅から徒歩25分

バス ① レインボーかつしか(有71・有72系統)

又は京成タウンバス(有70系統)で

「白鳥わかば公園」バス停下車 徒歩3分

(有71 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルピアかつしか)

(有72 亀有駅南口～ウェルピアかつしか)

(有70 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルピアかつしか 又は 葛飾区役所)

② 京成タウンバス(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分

③ 京成タウンバス(有57系統)で「共栄学園」バス停下車 徒歩5分

(有57 亀有駅南口～葛飾区役所～タウンバス車庫)

博物館だより

発行

葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

電話 03-3838-1101 FAX 03-5680-0849

<http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/>